

Oral & Maxillofacial Surgery

2 units 4th-year(2nd semester)

Youji Miyamoto · PROFESSOR / ORAL AND MAXILLOFACIAL SURGERY AND ONCOLOGY, COURSE IN DENTISTRY, Hirokazu Nagai · ASSOCIATE PROFESSOR / ORAL AND MAXILLOFACIAL SURGERY AND ONCOLOGY, COURSE IN DENTISTRY

Kenji Fujisawa · ASSOCIATE PROFESSOR / ORAL AND MAXILLOFACIAL SURGERY AND ONCOLOGY, COURSE IN DENTISTRY, Tetsuya Tamatani · ASSOCIATE PROFESSOR / ORAL AND MAXILLOFACIAL SURGERY AND ONCOLOGY, COURSE IN DENTISTRY

Daisuke Uchida · ASSISTANT PROFESSOR / ORAL AND MAXILLOFACIAL SURGERY AND ONCOLOGY, COURSE IN DENTISTRY, Miwa Miyauchi · ASSISTANT PROFESSOR / ORAL AND MAXILLOFACIAL SURGERY AND ONCOLOGY, COURSE IN DENTISTRY

Tetsuya Yuasa · ASSISTANT PROFESSOR / ORAL AND MAXILLOFACIAL SURGERY AND ONCOLOGY, COURSE IN DENTISTRY, Gou Ooe · ASSISTANT PROFESSOR / ORAL AND MAXILLOFACIAL SURGERY AND ONCOLOGY, COURSE IN DENTISTRY

Keiko Kudoh · ASSISTANT PROFESSOR / ORAL AND MAXILLOFACIAL SURGERY AND ONCOLOGY, COURSE IN DENTISTRY, Natsumi Takamaru · ASSISTANT PROFESSOR / ORAL AND MAXILLOFACIAL SURGERY AND ONCOLOGY, COURSE IN DENTISTRY

Target) 口腔・顎・顔面領域の嚢胞性疾患，腫瘍性疾患，顎関節疾患の病態を理解し，診断並びに治療法を修得する。

Outline) 口腔・顎・顔面領域の嚢胞性疾患，腫瘍性疾患，顎関節疾患の病態，診断に必要な検査とその所見並びに治療法を解説する。

Style) Lecture

Manner) 講義形式，プリント，スライド，ビデオを適宜用いる。

Location) 第4講義室

Theme) 口腔・頸部を構成する軟部組織，硬組織およびその関連器官の疾病の診断と治療

Notice) 口腔外科学(2)(口腔外科)BCの授業では，講義事項を授業計画の内容欄に「キーワード」として提示する。1.受講者は各回のキーワードについて事前に予習し，内容を予習帳に簡潔にまとめること。2.受講者は各回のキーワードについて授業終了後に復習し，内容を復習帳に簡潔にまとめること。また，予習時の内容と復習時の内容を比較して，学習の成果を確認すること。3.試験は全講義数の2/3以上の出席を満たしている者に対して行う。4.予習帳，復習帳の提出を求めることがある。

Goal) (＜>内はコアカリ対応)

1. 腫瘍の定義を説明できる。 <D-4-5)-①>
2. 腫瘍の組織発生を説明できる。(発生原因を含む。) <D-4-5)-②>
3. 異形成，退形成及び分化を説明できる。 <D-4-5)-③>
4. 腫瘍の異型性と多形性を説明できる。 <D-4-5)-④>
5. 良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 <D-4-5)- >
6. 局所における腫瘍の増殖，浸潤及び転移を説明できる。 <D-4-5)-⑥>
7. 抜歯の適応症と禁忌症を説明できる。(相対的禁忌への対応および小手術の適応症と禁忌を含む。) <F-1-4)-①>
8. 小手術の偶発症と合併症を説明できる。 <F-1-4)-②>

9. 抜歯に必要な器具の用法と基本手技を説明できる。(小手術を含む。) <F-1-4)-③>
10. 粘膜の切開，剥離に必要な器具の用法を説明できる。 <F-1-4)-④>
11. 縫合と止血に必要な器具の用法を説明できる。 <F-1-4)-⑤>
12. 手指と術野の消毒について説明できる。(器具の滅菌と消毒を含む。) <F-1-4)-⑥>
13. 簡単な抜歯ができる。 <F-1-4)-⑦>
14. 粘膜の切開，剥離ができる。 <F-1-4)-⑧>
15. 単純縫合，抜糸ができる。 <F-1-4)-⑨>
16. 埋伏智歯の抜歯法を説明できる。 <F-1-4)-⑩>
17. 顎関節の構造と機能を説明できる。 <F-2-1)-⑤>
18. 顎骨に発生する歯源性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 <F-2-4)-③)-①>
19. 顎骨に発生する非歯源性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 <F-2-4)-③)-②>
20. 口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の一般的な症状，診断法および治療法を概説できる。 <F-2-4)-③)-④>
21. 歯源性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 <F-2-4)-③)-⑤>
22. 非歯源性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 <F-2-4)-③)-⑥>
23. 口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状，診断法(組織診，画像診断)および治療法を概説できる。 <F-2-4)-③)-⑦>
24. エナメル上皮腫の特徴，症状および治療法を概説できる。 <F-2-4)-③)-⑧>
25. 口腔癌の特徴，予防，症状および治療法を概説できる。 <F-2-4)-③)-①>
26. 腫瘍類似疾患の種類と特徴を列挙できる。 <F-2-4)-③)-⑫>
27. エプーリスの特徴，症状および治療法を概説できる。 <F-2-4)-③)-⑬>

28. 顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。 <F-2-4)-(4)-①>
 29. 顎関節疾患(外傷, 脱臼, 顎関節症, 顎関節強直症)を概説できる。 <F-2-4)-(4)-②>
 30. 唾液腺腫瘍の種類と特徴を説明できる。 <F-2-4)-(5)-②>
 31. デンタルインプラントの種類と特性を説明できる。 <F-3-4)-(4)-①>
 32. 臨床歯学教育

Schedule)

大項目	内容	到達目標	担当
1.	嚢胞・嚢胞類似疾患	嚢胞総論 / 定義, 分類, 治療法	18,19,20,21 宮本
2~3.	”	上皮性嚢胞(歯源性嚢胞, 炎症性嚢胞), 非歯源性嚢胞, 嚢胞様病変 / 原始性嚢胞, 含歯性嚢胞, 萌出嚢胞, 歯肉嚢胞, 側方性歯周嚢胞, 腺性歯源性嚢胞, 歯根嚢胞, 歯周嚢胞, 鼻口蓋管(切歯管)嚢胞, 鼻唇(鼻歯槽)嚢胞, 術後性上顎嚢胞, 単純性骨嚢胞, 脈瘤性骨嚢胞	” 内田, 高丸
4~6.	腫瘍・腫瘍類似疾患	口腔腫瘍総論 / 口腔腫瘍の特徴・分類, 良性腫瘍と悪性腫瘍の特徴, 扁平上皮癌の一般的特徴, 口腔癌の特徴・TNM分類, 症状, 診断, 口腔癌の治療(放射線療法, 化学療法)	1,2,3,4,5,6,24,26 宮本
7.	”	口腔癌① / 舌癌の特徴・治療, 頸部郭清術・放射線療法を含む	24,26 ”
8.	”	口腔癌② / 口底癌・歯肉癌の特徴・治療, 頭頸部の再建手術を含む	” ”
9.	”	口腔癌③ / 頬粘膜癌, 口唇癌, 硬口蓋癌, 上顎洞癌	” ”
10.	”	非上皮性悪性腫瘍 / 肉腫, 悪性リンパ腫, 多発性骨髄腫, 悪性黒色腫	2,24 永井
11.	”	歯源性腫瘍総論 / 歯源性腫瘍の定義, 2005年のWHOによる歯源性腫瘍分類, 治療法	5,22,24,25 ”
12~15.	”	歯源性腫瘍 / エナメル上皮腫, 歯源性扁平上皮腫, 歯源性石灰化上皮腫, 腺様歯源性腫瘍, 角化嚢胞性歯源性腫瘍, エナメル上皮歯牙腫, 歯牙エナメル上皮線維腫, 歯源性線維腫, 歯源性粘液腫, セメント芽細胞腫, 歯源性癌腫, 歯源性肉腫, 歯源性癌肉腫, 骨関連病変	2,5,22,24,25,27 玉谷, 湯浅
16~17.	腫瘍・腫瘍類似疾患	非歯源性良性腫瘍 / 乳頭腫, 線維腫, 粘液腫, 黄色腫, 血管腫, リンパ管腫, 脂肪腫, 筋腫, 神経系腫瘍, 骨腫, Gardner症候群, 仮骨性線維腫, 軟骨腫, 骨軟骨腫, 巨細胞腫など	5,23,24 内田, 玉谷
18.	”	腫瘍類似疾患 / LCH, エプーリス, 義歯性線維腫, 骨増生, 線維性骨異形性症, 根尖性セメント質異形成症	27,28 玉谷
19~20.	唾液腺疾患	唾液腺腫瘍 / 病態, 診断, 治療法(外科的療法, 放射線治療, 化学療法)	24,31 永井

21~23.	手術各論	口腔外科小手術 / 抜歯術, 口腔外科小手術, 歯の移植・再植術, 軟組織損傷に対する治療, 口腔上顎洞瘻閉鎖術	7,8,9,10,11,12,13,14,15,16	宮内, 大江
24.	デンタルインプラント	人工歯根	32	藤澤
25.	手術各論	顎骨・軟組織再建 / 骨移植術, 骨延長術, 皮膚・粘膜移植, 有茎皮弁, 遊離皮弁	27	宮本
26.	顎関節疾患	顎関節疾患総論 / 顎関節の構造, 顎関節疾患の診断	29,30	藤澤
27~29.	”	顎関節症(分類, 症状, 診断, 治療など), 顎関節の發育異常, 炎症, 腫瘍および類似疾患, 顎関節の外傷, 顎関節強直症	”	”
30.	口腔外科学(2)(口腔外科)BCの総括	国家試験対応および解説 / 国家試験問題を解いてみよう	33	宮本

Evaluation Criteria) 評価は筆記試験により行い, 試験は4年次後期試験期間中に実施する。100点満点で60点以上のものを合格とする。口腔外科学(2)(口腔外科)の単位は口腔外科学(2)(口腔外科)A講義, 口腔外科学(2)(口腔外科)BC講義の全科目の成績を総合評価して認定する。

Re-evaluation) 1回のみ行う。

Textbook)

- ◇ 塩田重利, 富田喜内監修:最新口腔外科学, 医歯薬出版, 第4版, 1999年
- ◇ 白砂兼光・古郷幹彦編:口腔外科学, 医歯薬出版, 第3版, 2010年
- ◇ 道健一, 他編:口腔顎顔面外科学, 医歯薬出版, 初版, 2000年
- ◇ 石川梧朗監修:口腔病理学, 永末書店, 第2版, 1989年

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217276>

Contact)

- ⇒ Miyamoto (口腔疾患制御外科学, +81-88-633-7353, miyamoto@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 水17:00~ 18:00/4F口腔外科・教授室)
- ⇒ Nagai (+81-88-633-7354, hnagai@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 月17:00~ 18:00/4F口腔外科・助講室)
- ⇒ Fujisawa (+81-88-633-7352, fujisawa@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 火・水17:00~ 18:00/4F口腔外科・助講室)
- ⇒ Tamatani (+81-88-633-7354, ttama@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 月・金17:00~ 18:00/4F口腔外科・助講室)